計 画 の 各 論
（施策の展開）

目次

１．豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ…… 13

２．支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ…… 31

３．豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ…… 52

４．ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ…… 79

５．ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ……119

●各論の見方

1　全体の構成

各論は、5 つの「政策（まちづくりの方向性）」、19 の「施策の柱」及び 58 の「施策」で構成し、施策ごとに「施策の展開」と「計画事業一覧」を記載しています。

政策（まちづくりの方向性）

施策体系

１－１　豊かな自然を守り、はぐくむ

1-1-1　緑と水辺の保全・活用

1-1-2　やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

施策の柱

施策

2　計画事業

計画事業とは、新基本計画に示すまちづくりの方向に進んでいくため、計画期間（平成 30～32 年度）に新たに取り組む事業や、今までより拡充する事業をいいます。

計画事業

●	□△の推進 【新規・再掲】			○○課
□△のため、○△□△を行います。				
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標	
□△の調査	―	実施	完了	

計画期間（30～32 年度）に取り組む項目

計画期間に取り組む新規・拡充の内容

・事業名の前の「●」は、計画事業費を計上する事業。「■」は、計画事業費を計上しない事業。
・ は、市民や団体等の参加または連携により取り組む事業。
・【新規】は、第 3 次実施計画で新たに取り組む事業。
・【再掲】は、複数の施策に該当する事業。
　⇒主たる施策以外の施策に掲載する場合に表記しています。
・担当課の名称は、平成 30 年（2018 年）4 月 1 日時点。

方向性１

豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ

施策体系

１－１　豊かな自然を守り、はぐくむ

1-1-1　緑と水辺の保全・活用
1-1-2　やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

１－２　緑と花のあふれる都市空間を創る

1-2-1　公園緑地の充実
1-2-2　都市緑化の推進
1-2-3　花のあふれるまちづくりの推進

１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

1-3-1　低炭素社会の実現に向けた取組みの推進
1-3-2　循環型社会の実現に向けた取組みの推進
1-3-3　良好な生活環境の確保
1-3-4　環境保全・創造活動の推進

1－1　豊かな自然を守り、はぐくむ

1-1-1　緑と水辺の保全・活用

施策の展開

- 本市は首都圏の主要な都市でありながら、豊かな緑と水辺が残されており、市域の中で都会と田舎が近い距離で共生する環境が形成されています。本市の自然環境は、市民生活にうるおいと安らぎを与えていることから、市民や各種団体など、様々な主体と連動しながら、緑と水辺の保全を進めます。
- 本市の原風景であり多様な生態系を有する谷津田※の自然を保全するため、所有者・市民団体・市の三者が連携・協力し、田んぼや森づくりなどの保全・再生活動を進めます。

自然観察会（大草谷津田いきものの里）

計画事業

● 次期「緑の基本計画」の策定　　緑政課

緑地の保全や緑化の推進の指針となる次期「緑の基本計画」策定のため、緑の現況調査（緑被率※調査）を行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
緑被率の現況調査	—	実施	完了

● 谷津田の保全と活用の推進　　環境保全課

谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
谷津田保全協定の締結	56.0ha	9ha 拡大	65.0ha
保全団体等への活動支援	4 団体	2 団体増	6 団体
谷津田保全方針の見直し	—	実施	実施

● 特別緑地※保全地区の推進　　公園管理課

都市の良好な自然環境を有する緑地を保全するため、用地取得を行うとともに、民有緑地保全基本方針を策定します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
用地取得	51.217 ㎥	7,997 ㎥	59,214 ㎥
緑地保全基本方針の策定	—	策定	策定
指定候補地の検討	—	候補地の抽出	候補地の抽出

■	市民緑地の推進	公園管理課

市街地の緑を守り、身近な自然とのふれあいの場を確保するため、市民協働で緑地の保全・維持管理を行う「市民緑地」の設置を進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
市民緑地の設置	19 か所	実施	実施

●	生物多様性※の理解促進【新規】	環境保全課

生物多様性に対する市民の理解を深めるため、市民参加型の生き物調査を実施します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
市民参加型生き物調査	―	実施	完了

●	都川水の里公園の整備【再掲】	公園建設課

緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
用地取得	11.2ha	0.29ha	11.49ha

1－1－2　やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

施策の展開

- 本市が有するいなげの浜・検見川の浜・幕張の浜の 3 つの人工海浜と、稲毛海浜公園・県立幕張海浜公園の 2 つの海浜公園を活かし、海辺とまちが調和するアーバンビーチをコンセプトとした魅力ある空間を創出するため、20～30 年先の将来を見据えた海辺の活性化の取組みの方向性を示す「海辺のグランドデザイン」を平成 28 年（2016 年）に策定し、取組みを進めています。
- これまで、民間活力の導入による「ザ・サーフ　オーシャンテラス」のオープン、東京湾や富士山等が展望できる駐車場の整備、磯の松原散策路の整備など、海辺活性化に関する取組みを進めてきました。
- 今後は、稲毛海浜公園の持つポテンシャルを最大限に活かし、より魅力的で賑わいのある場となるよう、民間活力の導入による稲毛海浜公園施設リニューアル整備・運営を一体的に行います。
- 県立幕張海浜公園における集客施設等の導入について、関係機関・団体等と連携し、検討を進めます。
- 海辺の活性化に係る地域主体の取組みを促進するため、市民やまちづくり団体などからなる「海辺の活性化検討会」が企画・実践する取組みに支援します。
- 千葉中央港地区のまちづくりを推進するため、地区内の観光・集客施設や関係事業者と連携して、緑地等を活用した魅力的なイベントを実施するとともに、旅客船運航情報の提供等によりサービスの充実を図ります。
- また、港湾施設において受入れ可能な旅客船の誘致を進めます。

稲毛海浜公園のシーサイドレストラン・カフェ

千葉みなと旅客船さん橋

計画事業

● 海辺の活性化　　**海辺活性化推進課**

海辺の活性化を推進するため、関係機関・団体等と連携して県立幕張海浜公園における集客施設等の導入を進めます。また、稲毛海浜公園検見川地区における賑わい創出・景観形成を進めるとともに、地域主体の取組みを支援します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
県立幕張海浜公園における集客施設等の導入検討	官民連携事業化調査実施	関係団体等との協議・調整	関係団体等との協議・調整
稲毛海浜公園検見川地区における賑わい創出・景観形成	関係団体との協議・調整	基本方針策定 景観施設等整備	基本方針策定 景観施設等整備完了
地域主体による海辺の活性化の取組み促進	地域主体による取組み検討	地域主体の取組み支援 プロモーション実施	地域主体の取組み支援 プロモーション実施

●	稲毛海浜公園のリニューアル	緑政課

海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
民間事業者による施設リニューアル	事業者の選定	施設整備、既存施設の改修	事業者による管理・運営
長寿命化計画の策定	―	策定	策定

●	千葉中央港地区まちづくりの推進	海辺活性化推進課

賑わいや憩いのある港づくりのため、緑地を整備するとともに、イベントの開催や旅客船運航情報の充実を図ります。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
公園緑地の整備・管理	一部供用開始	整備	整備完了
海上交通の促進	千葉港を拠点とする旅客船の運航開始	旅客船の誘致	旅客船の誘致
イベント開催及び情報発信による賑わいづくり	イベント開催	イベント開催 旅客船運航情報の提供	イベント開催 旅客船運航情報の提供

1－2　緑と花のあふれる都市空間を創る

1-2-1　公園緑地の充実

施策の展開

- 大規模公園については、これまで昭和の森や動物公園などで、民間活力の導入による効果的な利活用を図ってきたところです。今後も引き続き、積極的に民間活力を導入し、各公園の特徴を活かした機能・魅力の向上を図ります。
- 動物公園については、市民に身近な集客観光施設として、特徴ある動物展示や子どもの遊び場を提供します。また、泉自然公園については、豊かな自然を活かした魅力向上のため、民間事業者による自然共生型アウトドアパークの整備・運営を行います。
- また、市民の日常生活に密着した公園を整備するとともに、将来にわたり地域に愛される公園を目指し、市民や団体が主体となって計画から整備まで行う手づくり公園の設置を進めます。
- 自転車愛好者の間で人気のある花見川サイクリングコースは、ウオーキングや散策でも多く利用されることから、歩行者と自転車利用者がお互いに安心・安全に利用できるよう、通行ルールを定めるとともに、舗装の改善をはじめ、休憩ベンチやトイレの充実を図ります。

蘇我スポーツ公園整備イメージ

肉食動物の導入（チーター）

計画事業

1. 安全で快適な公園利用の推進

●　身近な公園のリフレッシュ推進			公園管理課
公園の安全性や快適性の確保のため、老朽化した施設の更新や出入口等のバリアフリー化を推進します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
長寿命化計画の策定	―	策定	策定
公園施設の更新	遊具更新　一部実施	187 基	187 基
	塗装　一部実施	遊具 86 基、ほか 5 施設	遊具 86 基、ほか 5 施設
	遊具以外施設更新　一部実施	18 施設	18 施設
	ハザード除去　一部実施	127 基	127 基
出入口等のバリアフリー化	調査	19 公園	19 公園

● 有料公園施設の改修　　公園管理課

安全で快適な公園利用を維持するため、老朽化した設備等を改修します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
青葉の森スポーツプラザの設備設置・更新	野球場 内野フェンスマット設置	野球場 ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ・外野ﾌｪﾝｽﾏｯﾄ 陸上競技場 音響設備の更新	野球場 ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ・外野ﾌｪﾝｽﾏｯﾄ 陸上競技場 音響設備の更新
フクダ電子スクエアの人工芝改修	―	実施設計	実施設計

● 花島公園の充実　　花見川公園緑地事務所

花島公園の持つ資源を有効に活用し、魅力ある公園づくりを進めるため、長寿命化計画を策定するとともに、イベントや施設の充実を図ります。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
長寿命化計画の策定	―	策定	策定
イベント・施設の充実	―	健康づくり講習会 1 回/年 木橋の更新 ろ過装置調査	健康づくり講習会 1 回/年 木橋の更新 ろ過装置調査

● 泉自然公園の魅力向上　　若葉公園緑地事務所

泉自然公園の豊かな自然を活かした魅力向上のため、老朽化した施設の更新や樹林地の間伐を行うとともに、市民との協働による野草保全活動を行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
老朽化した公園施設の更新	―	井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ・給水管更新 園路階段・舗装園路改修 いずみ橋の修繕 ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ対応ﾄｲﾚ設置	井戸ﾎﾟﾝﾌﾟ・給水管更新 園路階段・舗装園路改修 いずみ橋の修繕 ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ対応ﾄｲﾚ設置
樹林地及び野草保全活動	―	伐採・捕植 0.5ha 植生調査等　実施	伐採・捕植 0.5ha 植生調査等　実施
民間事業者による自然共生型アウトドアパークの導入	―	運営開始	運営

● 昭和の森の魅力向上　　緑公園緑地事務所

昭和の森における安全性の確保、満足度向上のため、施設の改修や樹林地の再生による公園の魅力向上を図ります。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
樹林地の再生	樹林地再生計画策定	750 ㎡	750 ㎡
トイレの洋式化	洋式化率 29%	ﾄｲﾚ 6 棟の便器洋式化	洋式化 50%(便器数比)

●	動物公園の施設改修	動物公園

安全で快適な公園利用を確保するため、老朽化した施設を改修します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
受変電設備、機械設備及び汚水処理場の改修	受変電設備設計完了 第 4 期区画改修工事実施	改修	改修
給排水設備の改修 建築物の保全	給排水設備改修一部完了 保全設計　完了	実施	実施
長寿命化計画の策定	—	策定	策定

2. 魅力あふれる公園づくりの推進

●	蘇我スポーツ公園の整備	公園建設課

スポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
第 2・第 3 多目的グラウンド等の施設整備	34.0ha　供用	5.8ha　供用 日除け施設 6 基	39.8ha　供用
用地取得	27.3ha	4.5ha	31.8ha

●	千葉公園の再整備【新規】	緑政課

千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化のため、公園全体の再整備に向けた取組みを進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
再整備マスタープランの策定	—	マスタープラン策定	マスタープラン策定
千葉公園の再整備	—	設計・工事等	設計・工事等

●	都川水の里公園の整備	公園建設課

緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
用地取得	11.2ha	0.29ha	11.49ha

●	身近な公園の整備	公園建設課

魅力ある公園づくりを推進するため、市民の日常生活に密着した身近な公園を整備するとともに、市民が主体となって計画から整備・管理まで行う「手づくり公園」の設置を促進します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
身近な公園の施設整備	—	3 か所	3 か所
手づくり公園の設置促進	地域住民との意見交換	手づくり公園協働整備 1 か所 公園づくりﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ開催	手づくり公園協働整備 1 か所 公園づくりﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ開催

● 亥鼻公園のサクラの再生　　中央・稲毛公園緑地事務所

亥鼻公園の魅力向上のため、サクラの景観保全を図ります。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
サクラの伐採・新規植え付け	―	30 本	30 本

● 動物公園リスタート構想の推進　　動物公園

市民に身近な集客観光施設として動物公園の魅力を向上するため、チーター、ハイエナ、シマウマ、ヤマアラシ等の特徴ある動物展示や子どもの遊び場等を整備するとともに、教育支援プログラムの充実等を図ります。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
動物公園の展示のリニューアル	一部実施	平原ゾーン完成 正門展示場オープン 個体管理システム稼働 医療機器導入	平原ゾーン完成 正門展示場オープン 個体管理システム稼働 医療機器導入
「子どもの遊び場」整備	一部実施	実施	供用開始
快適な園内環境の整備	一部実施	身障者用ﾄｲﾚ　5 か所 多機能ﾄｲﾚ　　1 か所 授乳室、正門改修	身障者用ﾄｲﾚ　5 か所 多機能ﾄｲﾚ　　1 か所 授乳室、正門改修
リスタート構想に基づく教育普及活動	学習用教材の作成 骨格標本の購入	実施	実施

■ 市民協働による公園管理　　公園管理課

魅力ある公園づくりを推進するため、市民との協働による維持管理や利活用を図ります。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
ボランティア活動の実施	実施	継続	実施
ボランティア人材育成講習会	12 回/年	継続	12 回/年
ボランティアによる花壇管理	16 か所	継続	16 か所

■ ボール遊びができる公園づくり【新規】　　公園管理課

子どもたちがのびのびとボール遊びができる環境を整えるため、モデル的な公園を設置します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
モデル的な公園の設置	―	調査・研究、モデル実施	モデル実施

● 花見川サイクリングコースの充実　　緑政課

歩行者と自転車利用者が安全に利用できるよう、「花見川サイクリングコース」のルールづくりを進めるとともに、舗装修繕やトイレの更新等を行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
施設の改善及び利用者サービスの向上	舗装の修繕	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの開設、舗装補修 トイレ改修 5 か所	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの開設、舗装補修 トイレ改修 5 か所
通行ルールづくり	―	ルール策定、周知	ルール策定、周知
上流部の環境改善	関係団体との調整	舗装　約 2.7km	舗装　約 2.7km

1－2－2　都市緑化の推進

施策の展開

- 本市の市街地においては建物が密集している等により、新たな公園整備や民有地の緑化が難しい状況にあります。
- そこで、緑が少ない中心市街地での緑化を推進するため、民間建築物の屋上や壁面の緑化を支援し、市街地の緑を増やします。
- 地域ぐるみで緑豊かなまちづくりを進めるための制度である緑地協定の締結により、住宅地の緑化を推進します。
- 「緑のカーテン」普及のため、公共施設に苗と種子を配布するとともに、市内の小学校において、生徒による緑のモデルカーテンづくりを実施します。

屋上壁面緑化の事例

計画事業

■ 都市緑化の推進			緑政課
緑豊かな環境を創出するため、中心市街地や住宅地の緑化を推進するとともに、市民参加による緑化の普及啓発を行います。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
屋上壁面緑化への助成	3 件	3 件増	6 件
緑のモデルカーテンづくり	―	6 件	6 件
緑地協定の締結	175 件	3 件増	178 件

1-2-3 花のあふれるまちづくりの推進

施策の展開

- 市民や民間団体との協働により、花のあふれるまちづくりを推進してきた結果、市内各所で花が見られるようになり、花を通した市民交流も着実に進んでいます。
- そのため、引き続き「花」に関わる活動を展開する市民、民間団体、企業等による事業への参加・支援・協力を行います。
- 本市固有の地域資源の一つである市の花「オオガハス※」の魅力を市民へ幅広く伝え、千葉市らしさを感じることができるよう、記念講演会や大賀ハスまつりを充実します。
- ハスの鑑賞を楽しめるよう、千葉公園やみなと公園にハスの株分けや植替えを行います。

千葉公園のオオガハス

計画事業

● オオガハスの魅力発信　　緑政課

「オオガハス」の魅力を市民に幅広く伝えるため、イベントや情報発信の充実を図るとともに、ハスを鑑賞できる環境を整備します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
イベントの充実	大賀ハスまつりの開催	記念講演会の実施 大賀ハスまつりの拡充	記念講演会の実施 大賀ハスまつりの拡充
情報発信の強化	―	アクションプラン策定 学校分根 常設展示	アクションプラン策定 学校分根 常設展示
鑑賞環境の整備	―	系統保存ﾌﾟﾗﾝﾀｰの展示 ハスの株分け(千葉公園) ハスの植替え(みなと公園)	系統保存ﾌﾟﾗﾝﾀｰの展示 ハスの株分け(千葉公園) ハスの植替え(みなと公園)

■ 花のあふれるまちづくり　　緑政課

花のあふれるまちづくりを推進するため、花に関わる活動を行う市民に花の苗を配布するとともに、花や緑に関するイベントを開催します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
花いっぱい市民活動の推進	花苗助成　471 団体	9 団体増	480 団体
緑と花の地域リーダーの育成	修了生　185 人	30 人増	215 人
緑と花のコンテスト	参加　52 団体	6 団体増	58 団体

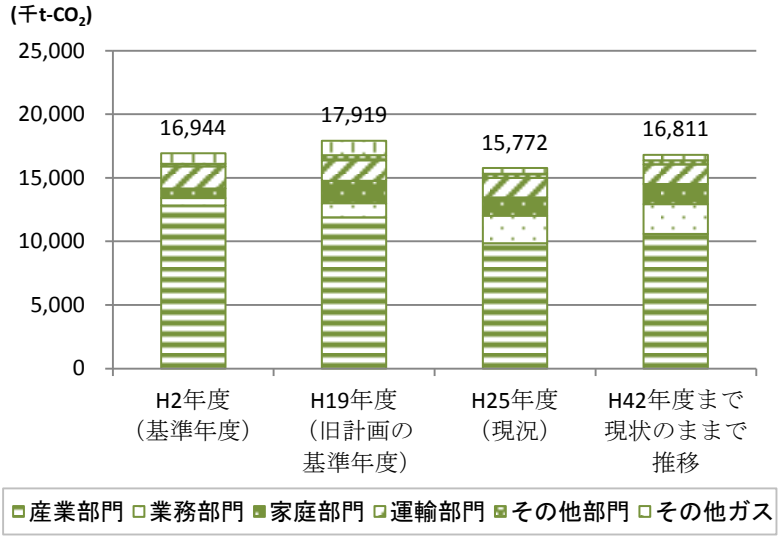
１－３　環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

１-３-１　低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

施策の展開

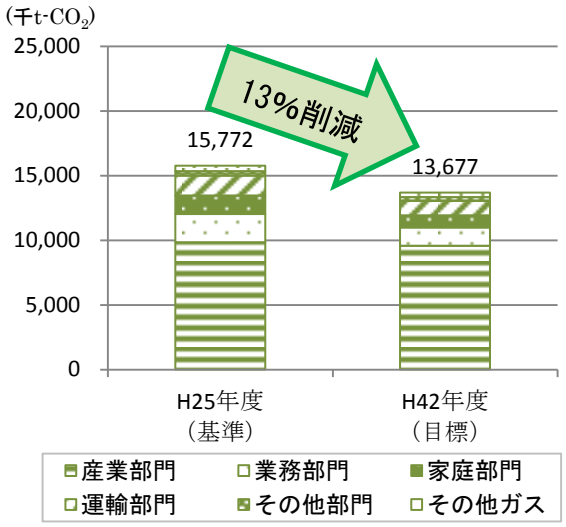
- 地球温暖化の原因の大部分は、私たちの日常生活や事業活動におけるエネルギー消費に伴い排出される二酸化炭素であり、特に家庭や事業者からの排出量の増加が著しいことから省エネルギーや資源循環に向けた取組みの強化が求められています。
- 省エネルギー化と再生可能エネルギー等の普及促進のため、引き続き、住宅用太陽光発電設備等の設置に助成するとともに、新たに、ゼロ・エネルギー・ハウス（ＺＥＨ）※の導入費用や、電気自動車（ＥＶ）の購入費用の一部を助成します。
- 環境基本計画に掲げた環境像である「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」を実現していくため、「ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ」に賛同し、市民や事業者とともに温暖化対策を積極的に進めます。

図表８　本市の温室効果ガス発生量



出典：千葉市地球温暖化対策実行計画　改定版（概要版）

図表９　本市の温室効果ガス排出目標



出典：千葉市地球温暖化対策実行計画　改定版（概要版）

計画事業

● 省エネルギー住宅及び電気自動車の導入推進【新規】			環境保全課
環境にやさしいまちづくりを推進するため、太陽光発電設備や高い断熱性能を有するゼロ・エネルギー・ハウス（ＺＥＨ）の導入費用や、電気自動車（ＥＶ）の購入費用の一部を助成します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
ＺＥＨ導入費用助成	―	130 件	130 件
ＥＶ購入費用助成	―	90 件	90 件

■ ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥの推進			環境保全課
地球温暖化対策に積極的に取り組むため、環境にやさしい「製品」「サービス」「行動」などの選択を促す全国的なキャンペーン「ＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥ」（賢い選択）を推進します。			
取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
イベント等における普及啓発	実施	実施	実施

●	**下水道における資源・エネルギー循環の形成【再掲】 （下水道再生可能エネルギー導入）**	下水道計画課

下水道資源を有効利用するため、リン回収事業手法の検討を行うほか、下水道における地球温暖化防止推進計画を策定します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
リン回収事業手法の検討	―	検討	検討
下水熱広域ポテンシャルマップ作成	―	作成	作成
下水道における地球温暖化防止推進計画の策定	―	策定	策定

1－3－2　循環型社会の実現に向けた取組みの推進

施策の展開

- 本市では循環型社会の構築に向け、古紙・布類の分別収集や再資源化、3R※教育・学習の推進など、市民及び事業者と協働しながら徹底したごみの減量・再資源化の取組みを進めており、平成 26 年度には焼却ごみ 3 分の 1 削減を達成するなど、取組みの成果が表れています。
- 本市は人口 50 万人以上の自治体において再生利用率が 6 年連続で全国第 1 位であり、リサイクル先進都市となっています。
- 今後は、市民・事業者・市の三者が発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）の2R推進を優先しつつ、3Rに取り組むことにより、低炭素社会を考慮した循環型社会の構築を目指します。

新清掃工場完成イメージ

計画事業

●　廃棄物処理施設の整備推進　　廃棄物施設整備課

将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、新清掃工場の整備や塵芥汚水処理場の建替を推進するとともに、最終処分場の整備について検討を進めます。

取組項目		29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
新清掃工場の整備	北谷津用地	環境影響評価等	環境影響評価等	事業者契約
	新港用地	—	施設基本計画作成	施設基本計画作成
最終処分場の整備		—	技術検討、用地検討	用地検討
塵芥汚水処理場の建替		用地買収	基本設計、実施設計 建設工事	建設工事着手

■　生ごみの発生抑制の推進　　廃棄物対策課

生ごみ減量のため、家庭用生ごみ減量処理機等の購入費用の一部助成や、飲食店での食べきりキャンペーンなどを実施します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
食品ロス削減啓発 キャンペーンの実施	2 回/年	継続	2 回/年
生ごみ資源化アドバイザーの派遣	10 件/年	5 件増	15 件/年
生ごみ減量処理機補助	115 基/年	85 基増	200 基/年
生ごみ肥料化容器補助	128 基/年	222 基増	350 基/年

●	3R※教育・学習の推進	廃棄物対策課

循環型社会の構築に向け、若年層に対し、ごみ減量の意識づけを促すため、未就学児や小学生等を対象とした3R啓発活動を行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
へらそうくんルームの実施（未就学児対象）	12か所/年	継続	12か所/年
ごみ分別スクールの実施（小学校4年生対象）	112校/年	継続	112校/年
エコレシピ料理講習会の実施（高校生対象）	3校/年	2校/年	2校/年
学校給食残渣再資源化モデルの実施	—	実施	実施

●	事業系ごみの減量・再資源化の促進	産業廃棄物指導課

事業所ごみの減量・再資源化を促進するため、事業所に対して古紙の再資源化や食品リサイクルの必要性を周知するとともに、訪問調査・指導などを行います。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
商業施設等のテナントへの訪問説明	100件	300件増	400件
一般廃棄物収集を委託していない事業所への排出状況調査・指導	200件	300件増	500件
事業用生ごみ処理機設置費助成	—	6件	6件

●	剪定枝等の再資源化の推進	収集業務課

3用地2清掃工場運用体制における安定的なごみ処理を継続するため、家庭から排出される剪定枝等を分別収集し、燃料チップなどに再資源化します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
剪定枝等の再資源化	3,200t/年	3,800t増	7,000t/年

●	下水道における資源・エネルギー循環の形成（下水道再生可能エネルギー導入）	下水道計画課

下水道資源を有効利用するため、リン回収事業手法の検討を行うほか、下水道における地球温暖化防止推進計画を策定します。

取組項目	29年度末現況	計画内容	32年度末目標
リン回収事業手法の検討	—	検討	検討
下水熱広域ポテンシャルマップ作成	—	作成	作成
下水道における地球温暖化防止推進計画の策定	—	策定	策定

1－3－3　良好な生活環境の確保

施策の展開

- 私たちの暮らしにとって、大気や水が清浄で安全なものであることは欠かせません。また、目に見えない化学物質への対策も重要です。様々な人間活動が環境に負荷を与えることにより、大気汚染や水質汚濁をひきおこすことがないよう、健康で安心して暮らせるまちを市民・事業者・市が一体となって目指します。
- 本市の大気の状況は、常時監視を開始して以来、初めて微小粒子状物質（ＰM2.5）が全測定局で「環境目標値」を達成したほか、多くの測定項目で「環境目標値」を達成しました。一方、河川や水質の状況については、「環境目標値」を達成した項目が減り、未達成の項目や達成状況が流動的な項目が増えたため、今後もさらなる施策の推進が必要です。
- このことから、大気や工場等からの排出ガス・排水状況の監視を継続するとともに、引き続き浄化センターにおける高度処理施設の整備を進めます。
- 羽田空港の再拡張に伴う航空機騒音問題について、市民が良好な環境のもとで日常生活を過ごせるよう、騒音の実態を調査するとともに、騒音の軽減に向け、国への申入れ等を継続して行います。

計画事業

●　大気・水質監視テレメータシステムの再整備　　環境規制課

市民の健康と生活環境を守るため、大気や工場・事業場の排出ガス・排水の汚染状況を監視するテレメータシステムを再整備します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
テレメータシステムの再整備	基本設計	再整備	運用開始

1. 良好な大気環境づくりの推進

■　大気環境測定の推進　　環境規制課

市民の健康と生活環境を守るため、大気中の微小粒子状物質（ＰM2.5）の成分分析を行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
ＰM2.5 の成分分析	1 か所（年 4 回）	継続	1 か所（年 4 回）

■　航空機騒音問題への対応　　環境規制課

航空機騒音の実態を把握し、生活環境を保全するため、迅速な騒音測定を行い、市民向けの情報提供を速やかに行います。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
航空機騒音の測定	4 地点/年	継続	4 地点/年
市民への情報提供	1 回/月	1 回/週	1 回/週

2. 良好な水環境づくりの推進

●	海辺の水質保全（下水道高度処理施設の整備）	下水道施設建設課

東京湾の水質を改善するため、浄化センターに高度処理施設を整備します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
中央浄化センター 高度処理施設整備	水処理施設土木工事 1/3 系列	水処理施設土木・建築工事 1/3系列 水処理施設機械・電気設備 工事1/3系列	水処理施設 1/3 系列完成
南部浄化センター A 系列高度処理化	A 系列高度処理施設 1/2 系列	高度処理化実施設計	高度処理化実施設計

■	上水道配水管布設等の推進	環境規制課

地下水汚染が確認された地域に安全な飲料水を提供するため、上水道配水管の布設や浄水器の設置に助成します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
上水道配水管布設助成	46 件	7 件増	53 件
浄水器設置費助成	13 件/年	7 件増	20 件/年

1－3－4　環境保全・創造活動の推進

施策の展開

- 本市では、平成 23 年（2011 年）に環境基本計画を策定し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的・計画的に推進してきたところですが、環境問題を取り巻く状況や社会情勢変化へ適切に対応するため、次期環境基本計画の策定を進めます。
- 環境教育の裾野の拡大、多様な学習機会の継続的・段階的な提供、さらには環境教育を支援するための人材や情報の提供などを体系的、計画的に推進します。

計画事業

●　次期環境基本計画の策定　　環境総務課

環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、次期環境基本計画の策定を進めます。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
次期環境基本計画の策定	―	素案作成	素案作成

■　環境学習・環境教育の推進　　環境保全課

環境問題に対する理解を深めるため、学校での環境教育を充実するとともに、市民団体との協働による環境学習講座を開催します。

取組項目	29 年度末現況	計画内容	32 年度末目標
環境学習モデル校の指定	小学校　6 校/年	継続	6 校/年
	中学校　6 校/年	継続	6 校/年
環境教育教材の作成	18,700 部/年	継続	18,700 部/年
環境学習講座の開催	公民館等　8 講座/年	継続	公民館等　8 講座/年